

梅窓院通信

No.113
2021/06/01

青山



梅窓院祖師堂にて、いつも見守って下さる法然上人像

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成

早くも一年半近く続いているコロナ禍。三密を避けるため去年の開山忌から大法要をYouTubeにてライブ配信させて頂いておりますが、こうした新しい形に皆様も、そして私たちお寺も段々と慣れてきてしまいました。直接お顔を拝見できないのは残念なことで、一日も早く本堂が以前のように檀信徒の方々でいっぱいになる日が迎えられよう祈念するばかりです。

大法要はライブ配信でもご覧頂けますが、本堂で直接ご焼香を頂けるよう準備をしてあります。感染症対策上、ご着席頂けません。読経を聞きながらご本尊様に手を合わせてお香を焚き、ご供養頂けます。お墓参りにお見えになりました際には、宜しければ本堂へもお参り下さい。

続いては、樹木葬・梅林苑の納骨壇についてのお話です。期間を決めてお骨をお預かりするのですが、思いのほかご利用頂く方が多い事に驚いています。お墓の後継ぎ問題は日々加速し、増えているようです。後継ぎ者でお困りの方がいらっしゃいましたら遠慮なくお寺にご相談下さい。

さて、コロナ禍で多くの行事が開催見合わせとなっていますが、秋の文化講演会は新型コロナウイルス感染症予防対策を充分行いながら、先着五十名限定で開催致します。講師にお招きするのは、浄土宗僧侶で長く大正大学で史学を教えられてこられた宇高良哲先生です。宇高先生と聞いてお気付きの方もいらっしゃるかと思います。『梅窓院史』をご執筆頂いた先生です。切れ味鋭いお話はわかりやすく、興味深い講演となるでしょう。



季語としてのお盆

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦

お盆

盆についての大方の認識では、七月盆、八月盆、加えて旧盆という三つの枠組みで理解されている。いわゆる七月十三、十四、十五日（あるいは十六日）の七月盆と八月十三、十四、十五日の月遅れの八月盆、つまりふるさと盆などという呼称も最近では行なわれている。それに旧暦に從った旧盆で、今年八月二十二日が旧暦七月十五日に相当している。

そのほかにも七月七日の七日盆、八月一日の八朔盆、八月二十三、二十四日の地藏盆、あるいは農業や漁業とのかかわりから七日遅れ盆・十日遅れ盆など、かつては日本列島津々浦々で、それぞれの日取りや期間を設け伝えて執り行なわれてきたのである。

さて俳諧俳句の季語は旧暦・陰暦に從うので、お盆行事に由来する季語は、これに関連する施餓鬼行事なども含めてすべて秋の部、初秋の季語となる。現今の日本の季候具合からみれば、七月盆はまだ梅雨明け前というところが多く、八月盆は夏の真つ盛りである。いずれにしても近年の地球温暖化の影響もあり、きびしい猛暑・酷暑のお盆風景が展開することが常態化している。

こうしたことからお盆俳句を鑑賞する場合に、現代の生活からみると季節時候の季節感のズレを感じることも

あり、とくに江戸俳諧の作句例を理解する折などはことさらに注意しなければならぬ。そのようなことを踏まえていくつかのお盆句を点検しながら味わってみよう。

望月や盆くたびれて人は寝る (路通) 夕月や涼みがてらの墓参り (一茶)

まずは旧暦時代の江戸俳諧から、齋部路通は芭蕉門下。陰暦七月十五日夜、盆祭・精霊祭も滞りなくすま、まずは「やれやれ」の思いの就寝である。小林一茶の句は、初秋とはいえ残暑の折柄を伝える夕景の展墓・墓参である。

畦草を刈つてありしも盆用意 (敏郎) 盆近き餓鬼の田草の実を持って (源義) 迎火やかがむ童に田の匂い (晴朗) 田の草の田合歡が咲くよ盆やすみ (柳芽)

田の辻の燻ゆる逢も川施餓鬼 (翠湖)

稲作列島の日本の風土とお盆の一点景を稲田の草・田んぼの畦草とのかかわりから覗いてみた五句である。清崎敏郎と角川源義は、お盆前の盆支度・盆迎えの頃の作句である。久保田晴朗は、魂待つ・魂迎えの門火・迎え火の句を、小さくしゃがんだ子供に稲田の匂いが慈しみ覆っていると詠んでいる。

木津柳芽は、田んぼの小ぶりな合歡の花をささやかに愛でる盆休みであるが、月遅れの八月盆の頃合いであるうか。中村翠湖は、その若葉が草餅に使用される蓬の芳香を施餓鬼舟の川送りに感じ取ったのである。燻ゆるとは薫ゆるとも書き、香りが蒸せ薫ることである。

送り火の跡あはれなり虫の声 (桃隣) 送り火にやらずの雨の降り出でし (眸)

享保四年(一七一九)に没した天野桃隣の句は陰暦七月盆。もう初秋の虫のすだく音が聞える。桃隣は芭蕉と同じ伊賀上野の人で親しい友であり、また一説には実の甥であるとも伝える人である。一方、岡本眸は昭和三年生まれの富安風生門下の女流俳人である。したがってこの「やらずの雨」は夏の雨であることは確かである。

お盆句は言うところの仏教句であるので、仏心を育てはぐくむ多くの俳句に窺われるように、季節のズレやブレを感じさせる作例は幾分少ないのである。多様なお盆習俗に合わせた季語のいろいろに応じた情味豊かなお盆句の中にも、お盆時分のゆかしい気分となつかしい風趣を理解することができるのである。

(大正大学名誉教授)

三月・四月の

行事報告

令和三年 春彼岸法要 3月20日(土・祝)



春彼岸法要の様子



ご先祖様へ届くよう合掌礼拝



尼僧によるペット慰霊法要



法要ではお焼香して頂けます

はなまつり 4月3日(土)~8日(木)



本堂近くにお祀りされた花御堂と誕生仏

お盆 7月13日(火)

盂蘭盆会法要 午前10時30分～ 2階本堂

本年の盂蘭盆会法要は、檀信徒の皆様にお焼香頂けます。
大切なご供養にもなりますので、宜しければ本堂へお参り下さい。



梅窓院ホームページの
QRコード

感染予防のため、お席のご用意はございません。
また、マスクの着用、手指の消毒・除菌にご協力をお願い申し上げます。
なお、お塔婆は法要後に僧侶にて建てさせていただきます。
法要の様子をライブ配信予定です。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.baisouin.or.jp/>

お たな ぎょう 御棚経

7月13日(火)～15日(木)

お盆とは

今、私がいるのは両親の、そしてご先祖様のおかげ。そのご先祖様がお家に戻ってきて下さるのが盂蘭盆、お盆です。コロナ禍で外出制限されていますが、ご先祖様たちは大丈夫、むしろ喜んで私たちを励ましに来てくれます。今年のお盆、どうぞいつもよりしっかりとお迎えし、ご先祖様と色々な話をしたいものです。

御棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。
また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

盂蘭盆会 塔婆・回向のお申込み方法とお知らせ

◆盂蘭盆会 塔婆・回向お申込み方法

- 塔婆回向 1 本 10,000円
- 御回向料 1 霊 5,000円

お申込み方法

同封はがきにご記入の上、7月1日(木)必着でお申込下さい。
はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

お支払いの方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払いはできません。
ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

お盆に寄せて

お経の言葉②「不計衆苦」(「無量寿経」上巻)
日差しの眩しい季節になりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、このコロナ禍で世の中の見通しが立たない時勢であります。しかしながら、思い通りにならないのが世の常、と約二五〇〇年前に悟ったのがお釈迦様であり、お釈迦様のお言葉を書き残したのがお経典であります。

標題の「不計衆苦」とは単純に、「衆の苦を計らず」、思い通りにならないこと(苦)を一々数えない。くよくよと気にありません。私の尊敬するミュージシャンの詩の一節が、まさにこの精神と思われれます。

『どうにもならない事なんて どうにでもなっている事』(『少年の詩』/ THE BLUE HEARTS 作詞: 甲本ヒロト)

「不計衆苦」ですが、出典は浄土宗が拠る所とする浄土三部経の『無量寿経』です。阿弥陀様がまだ仏様になる前、一国の国王であつた頃、世自在王仏という仏様に出会い、王位を捨てて、法蔵という菩薩(修行者)になります。法蔵菩薩様の修行について説かれる一節が「不計衆苦」であります。法蔵菩薩は修行時代から傑出した菩薩として登場しますが、その未来の阿弥陀様でさえも、思い通りにならないことは一々数えず、気にしないであろうという精神的態度で修行をされているのです。

とはいえ、「気にしない」の方もいるでしょうし、どうしようもないことをいつまでも引きずってしまうのが人間の性であります。しかし、あれもこれも気になるという時には、阿弥陀様のご修行を思い出し、気持ちを切り替えてみてはいかがでしょうか。

さて、本年も盂蘭盆会法要が近づいて参りました。今回もネット配信にはなりますが、一緒に思い出だけでも嬉しいでございます。

(法務部/中島真紹)

合掌

教えて

お坊さん



今困っていること、
どうしたらいいですか？

長引くコロナ禍での外出自粛。こうした中、普段のお墓参りができない、お葬儀に参列できない、などの困りごとに梅窓院のお坊さんが答えます。

質問

一

コロナ禍で中々お墓参りができません。ご先祖様に叱られてしまつてしまうでしょうか？
また、母の葬式に母が懇意にしていた友人を呼んであげられませんでした。母は悲しんでいるのでしょうか？



副住職

なかじま しんしょう

中島 真紹

まずはご先祖様についてですが、浄土宗では極楽にお生まれした方々の捉え方として、たとえ、長い時間を経ても魂が集合して、二つの祖霊になるという考えはありません。ですから、沢山のご先祖様がそれぞれ極楽で菩薩(修行者)となつており、そのような菩薩様が、ご自分のみならず世間の人の健康のため、コロナを心配して募参できないことをお叱りになることがありますか。

さて、次の質問ですが、旅立たれたお母様がお葬儀をどう思われたのか、私共にも知る術がありません。ですが、極楽へお生まれしたお母様はもうそのことで悲しみ続けることはありません。なぜなら、極楽には何の苦しみもなく、楽のみがあると私共が拠り所とする『阿弥陀経』に説かれています。この世でのお別れは悲しいことですが、必ずその時が来ます。同じくこの『阿弥陀経』には先に極楽へ旅立つた方と「ともに同じ場所でもたええること」「これを「俱会一処」といいます。」も説かれております。ですから、今後もお母様のご友人とともにお手を合せて、お念仏いただければ何よりでございます。

合掌

質問

二

自粛していますので、お寺にお参りに行けません。お念仏を家で称えるのに決まりはあるのでしょうか？
また、大切な親友のお葬儀に参列できませんでした。家でできる供養を教えてください。

お念仏を称えるのに決まりはありません。周囲の環境やマナーを守って頂ければ、いつでもどこでも構いません。そしてできるだけたくさんお称えて下さい。ご自分の耳に聞こえる程度のお念仏でも大丈夫です。

ご自宅でしたら、家の中の西方極楽浄土となるお仏壇の前が理想的です。ですがお仏壇がない時は、手を合わせる方向が西方極楽浄土になると思つて構いません。なぜなら、阿弥陀様の本願がお念仏を称えることを大切に、場所を選ばず救ってくれるからです。

大切な親友への供養も同様に亡き人を偲びながら阿弥陀様のお名前を呼んで下さい。つまりお念仏を称えることですね。

私たち浄土宗では、三心(真実心・深く信じる心・往生を願う心)を具え「南無阿弥陀仏」とお念仏をお称えることを大切にします。葬儀に参列できなくても、ご自宅で会えなかつた親友を思いながらお念仏を称えることが何よりのご供養かと思えます。そして、コロナが終息した後はご親友のお墓参りに行つてあげて下さい。

合掌



たきざわ こうげん

瀧沢 孝彦

お寺に行けず、お墓の手入れが出来ません。罰当たりでしょうか？



すがわら まや
菅原 麻耶

結論から申しますと、決してそのようなことはありません。

コロナ禍のお墓参りは、皆さんが悩まれることの一つかと思いますが、お墓参りはお葬式と違い、今絶対に行かなくてはいけないというものではありません。不要不急の外出は控えるよう言われている中で、お墓参りを控えることは仕方ないことです。

そしてこんな時こそ、家内安全無病息災でいられることをご先祖様に感謝してはいかがでしょう。一番大切なのは、普段からご先祖様に感謝し、この世に生まれたことを有難く思うことです。

お墓参りの理想は、お守りしている方が直接お墓に行ってお墓を清め、一心に掌を合わせることです。しかしながら、新型コロナウイルスの影響は今後もまだ続きそうです。感染者が増えるたびに移動制限せざるを得ないでしょう。

「お墓参りをしたいけど、できない」というもどかしい想いを抱えている方は、お墓参り代行など新しいお参りの形を検討してみるのもよいでしょう。梅窓院でもお墓参り代行をお受けしております。是非、ご相談下さい。

合掌

コロナ禍で孫に直接会えませんが、孫のような子供にもできる、徳を積める方法があれば知りたいです。

お孫様のような子供でもできる、徳を積める方法をお知りになりたいということですが、それは善い行いを積むことです。

私たち浄土宗では、誰にでもできる「南無阿彌陀仏」のお念仏をお称えすることが最も功德がある善い行いとしていいます。ですから、学校の登下校の前後にお仏壇に手を合わせてお念仏をお称えしたり、ごはんの際にお称えすることも大切です。普段の生活の中で南無阿彌陀仏のお念仏をお称えするよう、子供さんに見本を見せてあげて下さい。

そして、大切なお念仏の他にも、日々の生活で善い行いを積めることは沢山あります。おじいちゃんやおばあちゃんにコロナをうつさないように、本当は会いたいのにみんなのことを思い、会うのを我慢することもとても大切なことです。また会えない時にビデオ通話や電話で大切な人とつながることも大切でしょう。

心配をかけずに、明るく正しく仲良く毎日過ごすことも善い行いを積むことになります。大変な時代ですが、誰にでも優しい心を持ち、寄り添いニコニコ笑顔で生活すること、これを和顔愛語といいますが、これを実践できるといいですね。

合掌



わかおみ たいせい
若麻績 大成

大法要のライブ配信を視聴するだけで、ご先祖様の供養をできているの不安です。やはり無理してでもお寺に行った方がよいでしょうか。また、回忌法要はどうすればよいでしょうか。



ふじくら こうき
藤倉 浩輝

ライブ配信をご視聴頂きありがとうございます。昨今のコロナ禍により、外出すらも不安が付きまとう状況が続く中でお心お察し致します。

ライブ配信の視聴だけでご先祖様へのご供養ができていくのか不安だということですが、そのような思いが沸き上がるのも一つのご供養ではないでしょうか。そのお姿をご先祖様も喜んで見守って下さっていることと思います。

また、浄土宗における最大のご供養は、法然上人がどんな人でも行える修行としてお示し下さったお念仏「スバリ「南無阿彌陀仏」とお称えすることです。ですから、私たちが生前にできる最大のご供養とは「阿彌陀様、ご先祖様のことをよろしく願います。そして私達に何かあればお救い下さい」と思いを込めてお念仏することだけなのです。ぜひ、日々の生活にお念仏を取り入れて下さい。

回忌法要については、コロナウイルスが落ち着いたら、回忌が過ぎていたとしても、ご先祖様が早く成仏するように、という願いを込めた追善供養の法要をつとめられることをお勧めさせていただきます。

合掌

今回は梅窓院の大法要やコンサートでの音響でお世話になっている村上音楽事務所さんを訪れました。五反田本社で、姉弟の共同経営について伺いました。

◆本日はよろしくお願い致します。

代表取締役会長(以下 会長)こちらこそ御足労頂き、ありがとうございます。よろしくお願い致します。

代表取締役社長(以下 社長)よろしくお願い致します。

◆会長が創業者と伺っておりますが。

会長 はい、20代の頃ピアノやエレクトーンを帝国ホテルで弾いていたことがあり、あるTVプロデューサーに勧められ1980年にスタッフ10名ほどで音楽事務所をスタートしました。

当初は音楽に関わる仕事でしたが、今はウェディング、保育園、幼児英語教育など業態が広がっています。

◆社長はいつ頃からお姉様である会長と一緒に仕事を始められたのですか。

社長 はい、姉の起業から10年後の1990年からです。私は理科系でして、大手ITベンダー企業でシステムの仕事をしていました。そこに姉からの「手伝って」という誘いを受けて即断しました。

◆ご姉弟で一緒に会社を経営されると、袂を分ち別会社に、という例も少なくないように思えるのですが……。

会長 そうなのですね、うちの家族は子供の頃から仲が良かったです。そして、それは一緒に仕事をしても変わりません。

会長と社長は一緒に会社を経営される仲の良いご姉弟。



五反田の本社入り口で 会長(中央)、社長(右)と中島住職。

◆お二人の仕事の分担はどうされているのでしょうか。

社長 はい、姉は音楽家であり、まさに当社の顔です。交際範囲も広いので、営業を担当してもらっています。

そして私は社内の仕事、管理や経理などを担当しています。

◆まさに二人三脚ですね。

お仕事の内容を教えて頂けますか。

会長 メインはもう40年になるブライダルの仕事ですね。具体的には結婚式での演奏者や牧師さんの手配です。結婚式もだいたい形態が変わってきていますが、パイプオルガンの演奏や讃美歌の合唱は変わりません。

社長 そして、結婚式のお手伝いから子育てのサポートへと仕事の幅が広がりました。20年前からは保育園などの経営、さらに子供への情操教育といったものを手掛けています。

会長 子供には音楽だけでなく英語も教えたいと、色々企画してきました。

◆その中で梅窓院とのお付き合いはいつから始まったのでしょうか。

社長 まだ新本堂が建つ前に、私がある会で中島住職と知り合いました。音楽関係の仕事をしていると言うと、「では相談させて下さい。」と祖師堂の設計段階からお手伝いさせて頂いたことがご縁の始まりです。

会長 私は弟の紹介で梅窓院さんを知りました。法要での住職の堂々たる姿に惹かれ、菩提寺にと入壇させて頂きました。

◆そうですか、お二人とも梅窓院を長年支えて下さっているのですね。今後もよろしくお願い致します。

会長 社長 こちらこそ、よろしくお願い致します。



梅窓院祖師堂ホールの調整室。設計時から村上音楽事務所さんに関わってもらっている。

食は命

食養研究家
武鈴子

第八十三回

夏は「心」にトラブルが起きやすい季節です。陽気が充満してくると皮膚からの発汗や自然蒸発が増えて、体液が減少し、血液が粘っこくなって、疲労感が増大し、心臓に負担がかかりやすくなるのです。

夏は消耗した体液と体力を補い、心機能を低下させないようにしましょう。水分の多い冬瓜、きゅうり、スイカ、トマトなどで水分補給を十分に体液を補い、熱を鎮めて暑さを解消するゴーヤ、なす、みょうが、体力を補い滋養するうなぎ、どじょう、毛穴を開いて発汗を促し、食欲を増進させるねぎ、しょうが、しそ、特に梅干しは、強力な殺菌力で、慢性の下痢、食中毒、食欲不振を解消するので毎日摂るようにしましょう。

梅ジャコご飯

材料：米2合、だし昆布5cm角、酒大さじ1、塩小さじ1/2、梅干し2個、ジャコ40g、大葉5枚、炒りゴマ小さじ2

作り方①梅干しはタネを除いて、梅肉をたたく。タネも加えて炊くので捨てない。②米を洗って炊飯器に入れ、酒、だし昆布、①、塩を加えて普通の水加減で炊く。③炊き上がったら梅干しのタネと昆布を取り出し、ジャコ、細切りにした大葉、炒りゴマを加えて混ぜる。

梅は上に述べた通りで、夏場の疲労回復に最適。ジャコは「イワシ百匹頭の葉」といわれるほど栄養豊富。イワシに多いDHA、IPAは血液をサラサラにする。大葉は、皮膚を開いて汗を出し、胃の消化を助け、排便をよくする。夏場にピッタリのご飯です。

文化講演会開催のお知らせ

梅窓院開山観智国師源誉存応上人について

日時 2021年10月23日(土)

会場 梅窓院 祖師堂

講師 宇高良哲上人
(大正大学名誉教授・文学博士・十連寺前住職)

入場無料・先着50名/事前申込制

※お申込方法等の詳細は、次号「秋彼岸号」にてお知らせ致します。
※本講演はご参加頂く全ての方々の健康・安全を守りながら開催して参ります。ご来場される皆様には新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願い致します。

ご挨拶

秋の文化講演会で、梅窓院の開山観智国師源誉存応上人についてお話をさせていただき宇高でございます。平成16年刊行の拙著『梅窓院史』の中で、すでに紹介させていただきましたが、その後の研究成果も補足して將軍徳川家康の帰依を得て、現在の浄土宗教団の基盤を確立した観智国師の業績を、具体的な事例を紹介しながらお話をしたいと思います。当日皆様方にお目にかかれることを楽しみにしております。

宇高 良哲

【講師プロフィール】



う だか よし あき
宇高 良哲

昭和17年埼玉県生まれ。昭和39年に大正大学文学部卒業後、昭和44年には同大学院博士課程を修了する。大正大学教授・三康文化研究所研究員などを経て、現在は大正大学名誉教授・文学博士である。『梅窓院史』執筆を始め、当山との関わりも深い。また、2019年10月増上寺にて開催された念仏フェスティバルで講演を行うなど、観智国師の理解を広めるのに精力的に活動している。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○ 雛祭り小さな靴の二十足

◎入選

○ 春の夢いとしき者の影遠く

○ 啓蟄や行く先々の道普請

○ あでやかな桜を仰ぐ帰り道

○ 蒲公英は線路にだつて咲き誇る

○ 春うらら乙女と恋は開花する

○ 春風や気持ち新たに門くぐる

○ 初桜かをり優しくありにけり

○ 花筏ちとも動かず日の暮れて

○ 花ぐもり「商い中」とそば処

○ 散るさくら舗道を淡く染めにけり

◎選者詠

○ 傘に雨地に花屑と桜しべ

(フリンゴントアドバイザー)

桜の花が散ったあと桜しべが散ります。ここでよく間違いが起こります。「桜しべ」を春の季語と思つて使う人が結構いることです。いまのところ「桜しべ」は季語として認められておらず「桜しべ降る」が季語となっています。私見では「桜しべ」をもつ季語として認めていいと思ふのですがそれは誰れがそう決めるのだ、というところ、それははっきりしません。大体、有名な俳人が使うと、多くがそれに従うようなのですが……。今回のわたしの句の季語は「花屑」です。

大崎 紀夫

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月1日(木)締切り、9月発送の「秋彼岸号」にて発表致します。郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。

皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係
FAX:03-3404-8436(青山文化村)
メール:bunkamura@baisouin.or.jp

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

「森さん、辞めたと思った。」「生きていたんだ。」

なぜこんなことを言われる羽目になったのかというと、以前お渡しした名刺に記載されていたPHSの電話が使えなくなったからです。ですから、私に電話をかけた方が、あれ？ 繋がらない。辞めたのかな？ 旅に出たのかもしれない……。

勝手に旅へ出す前に会社の方に電話して下さいな。元気に生きておりますよ。10人くらいに心配されました。(笑)

本来、昨年7月に使用できなくなる予定だったPHSはコロナの関係で今年1月まで利用延長になりましたが、現在は終了しております。今後はラインを使っておられる方はぜひ、お友達登録をお願い致します。

昨年からお参りなどに来られなくなった方から墓苑代行作業のお申込みが増えております。ご希望の方は墓苑部までお気軽にお問合せ下さい。
(墓苑部:森)

墓苑部 LINE ID @858sohpe



ID、QRコードともに「墓苑案内」「墓苑相談(代行、ペット)」専用となっています。法要予約はお受けできません。

代行作業内容	料金一覧
草むしり	2,200円～
墓石洗い	大きさ等に応じて 1,100円～ 5,500円
植木手入れ	1,100円～
代参	1,100円 + 香花代
その他	大きさ等に応じて個別対応

※詳細はお問い合わせ下さい。

墓苑事業部電話番号 03-3404-1230

行事予定

開山忌法要

6月12日(土)

法要 午後1時～ 本堂

※YouTubeにて法要の様子を配信予定です。

盂蘭盆会法要

7月13日(火)

法要 午前10時30分～ 本堂

※YouTubeにて法要の様子を配信予定です。

詳細は3面をご覧ください。

しばらくの間、大法要は梅窓院僧侶のみで厳修し、その様子をYouTubeにてライブ配信予定です。尚、今後の行事開催につきましては梅窓院ホームページ等で随時お知らせ致します。皆様にはご不便をおかけし申し訳ございませんが、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます。



梅窓院ホームページのQRコード



梅窓院YouTubeチャンネルのQRコード

お檀家さんに伺いました

令和3年 電話取材にて

「心はいつも傍にいますから。」

コロナ禍で思うようにお寺へ行けなくなりましたが、自分が元気でいられるのは大切な夫のおかげなので、月に1回はお墓参りをして供養するように心掛けています。お墓を梅窓院にしたのは、賑やかさ・静けさの両方を感じられ、心穏やかになれるからです。また、ご僧侶・職員の皆さんが温かく迎えて下さり本当に感謝しています。

発行 梅窓院
発行日 令和3年6月1日
発行人 中島 真成
編集 青山文化村
住所 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 03-3404-8447
FAX 03-3404-8107
ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡